

学習方法の変化

【意見】

- ・ 1 クラスは 20 人くらいが目が行き届く人数
- ・ 30 人は少し多い印象
- ・ 少人数だから学力が上がるというものではない。
- ・ I C T 等の効果的な活用が必要
- ・ 白馬のような多様性にはクラスにある程度人数がいる。
- ・ 今はネットでつながる交友関係もある。
- ・ 専科の先生がいた方が面白い授業ができる。

対応

- ・ 適正な規模の学級、学校の在り方
- ・ ICT機器を効果的に使用した学習方法

ポイント

- ・ 20人くらいが目が行き届く人数
- ・ 多様な児童、生徒に対応していくにはある程度の人数が必要
- ・ 少人数が必ずしも学力向上にはつながらない。
- ・ 専科教員が配置できる規模

学校

- ・ 人数減によるクラス等の減少
- ・ 白馬村特有の多様性
- ・ 少人数なので、一人ひとりに目が行き届く。
- ・ 専科教員により専門性の高い授業が可能。担任以外の教員と関わることで多様な価値観に触れられる。

新しい学校生活・地域との関係

【意見】

- ・保護者も少なくなり役員になる回数が増える。
- ・児童、生徒、教員も減り行事開催が難しい。
- ・地域の子供が減り、伝統行事が開催できない。
- ・地域の子供の顔がわかるので、地域で育てられる。

対応

- ・時代に即した新しい学校生活の工夫
- ・学校、保護者、地域の連携協力体制の確立

ポイント

- ・学校行事の開催方法は工夫が必要
- ・保護者と学校のかかわり方も工夫が必要。
- ・地域と学校の連携協力で子供を育てる工夫

学校・家庭・地域

- ・人数減で昔通りに行事は開催が難しい。
- ・保護者の役員をやる順番が増える。
- ・お祭りなど地域の行事の開催が難しい。（伝統行事が継承できない）
- ・地域の子供は顔見知りなので、地域が子供を育てることができる。

施設整備

【意見】

- ・両小学校の老朽化
- ・修繕等経費の増加

対応

- ・少子化時代に子供たちへ魅力的な学びの場の提供

ポイント

- ・少子化時代での魅力的な教育方針
- ・適正規模の学級編成はどうあるか

意見

- ・両小学校は老朽化により大規模改築・新築等の時期が来ている
- ・生産年齢人口も減り行政の財政負担も増える。
- ・統合小学校としても一概に財政負担が減ることはない。